
令和6年度 第1回
川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会
議 事 要 旨

〔日 時〕 令和6年10月30日（水） 13:30～14:30

〔場 所〕 川口市役所第二庁舎 地階第1・第2会議室

〔出席者〕

1 委 員

田中委員（会長）、白土委員（副会長）、山森委員、吉井委員、岡本委員、土肥委員、宮崎委員、松本委員、石川委員、山下委員、吉田委員、片山委員、真辺委員

2 事務局

森部長、蛭名次長、市村補佐、尾形補佐、加藤補佐、加賀補佐、小柳補佐、山路補佐、今井主任、岡崎主任

〔日 程〕

1 開 会

2 議 題

- （1）専門分科会会長の選任
- （2）専門分科会副会長の指名
- （3）川口市障害者福祉計画等について
- （4）地域生活実現プロジェクトについて

3 報告事項

- （1）障害者短期入所施設柳崎しらゆりの家について

4 閉 会

〔配布資料〕

- ・第1回川口市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会 次第
- ・資料1 地域生活実現プロジェクト

〔議事要旨〕

1 開 会

事務局より、開会が宣言され、委員の紹介が行われた。

2 議 題

（1）専門分科会会長の選任

川口市社会福祉審議会規則に基づき、委員の互選により田中委員が会長に選出された。

（2）専門分科会副会長の指名

川口市社会福祉審議会規則に基づき、田中会長の指名により白土委員が副会長に選出された。

(3) 川口市障害者福祉計画等について

【説明】

事務局より、計画書に基づき説明が行われた。

【質疑応答・意見】

- (委 員) 川口市障害者福祉計画 P77「福祉施設の入所者の地域生活への移行」は、川口市に戻すことを意味するか。住み慣れた地域の施設に戻すことを意味するか。
- (事務局) 入所施設は平成 18 年度まで市内になかったが、現在 3 カ所ある。原則、入所者が川口市に戻りたい人は市内のグループホーム等に戻し、入所している地域のグループホーム等に入りたい場合はそちらを勧める。
- (委 員) 本人の意向は大事である。

(4) 地域生活実現プロジェクトについて

【説明】

事務局より、資料 1 に基づき説明が行われた。また、田中会長から補足説明が行われた。

【質疑応答・意見】

- (委 員) 現在の進捗の説明を。
- (委 員) 本年 2 月に提案し、本日改めて提案し、これから進めていくもの。事務局で進捗があれば説明を。
- (事務局) 入所を希望している方、ショートステイのロング利用者、虐待や DV 被害者の中から事例ケースを抽出し、検討するに不可欠と思われる情報、事例ケースの概要や特記事項などをシートに落とし込み、次回の審議会で提示できるよう準備している。
- (委 員) 待機者について、国の考えはあるか。
- (事務局) 直接結びつかないかもしれないが、今年度県全体で入所待機者の実態調査を行う旨の通知があり、現在、引き続き入所待機なのか、グループホームで対応なのか、在宅ではどうかなど、待機者の実態調査をすすめている。
- (委 員) 入所については、空きがあれば入所するかの判断になる。本人や家族の意向を聞くことが大事である。
- (委 員) 貴重な調査となると思う。
- (委 員) 障害者の親が高齢化している。年齢が高い親は施設入所を希望し、年齢が高くない親はその他の方法も希望する傾向がある。また、親は介護が少しでも必要であれば施設入所を希望する。障害者福祉計画の重点施策にも関連してくると思う。
- (委 員) 川口市で一緒に暮らしていくのに必要なものは何か、裏付けをとって、次期計画に活かしていきたい。

3 報告事項

(1) 障害者短期入所施設柳崎しらゆりの家について

【説明】

事務局より、説明が行われた。

【質疑応答・意見】

(委 員) 朝日しらゆりの家を運営しており、利用したくても空きがないと意見をいただく。ショートステイのロング解消を早めにしていかないといけない。地域の実態を把握していく必要がある。

(委 員) 柳崎しらゆりの家は進捗があると思うが、図面はあるか。

(事務局) 図面は次回提示する。

4 閉 会

事務局より、閉会が宣言された。

以 上